

平成28年度 南魚沼都市英語活動部 活動報告

部長 小菅 哲志

- 1 研究主題 仲間と笑顔でかかわりながら主体的に学ぶ国際科（外国語活動）の授業づくり
- 2 研究の概要 昨年度に引き続き、以下の2点について研修を進めた。
 - ・南魚沼市学習指導センター主催の研修講座や教育講演会への参加による研修
 - ・授業実践に向けた夏期研修会

3 研究の実際

(1) 学習指導センター研修講座への参加

南魚沼市学習指導センターが主催する6回の講座や教育講演会に、一人が2回以上参加することを目標に決めて取り組んだ。各研修に参加した部員からは、研修内容と感想を報告してもらった。

① 小学校外国語活動・国際科示範授業・講演会

＜参加部員からの報告＞

文字と音の関係を学習するジョリーフォニックスの公認トレーナーから直接指導を受け、指導の流れや留意点を学ぶことができた。まだ、一人で進める自信はないが、英語の教科化に向けて、自らの指導力と英語力を高めていく必要があると感じた。

② 「小中連携」中学校英語公開授業講座

＜参加部員からの報告＞

小学校の国際科の授業が、中学校の英語にどうつながっているのか、興味をもって参観した。表現する楽しさや喜びを小学校で学んでいることが、中学校の英語学習にも生かされているという話を聞いて、小中連携の重要性を再確認した。

③ 英語教育講演会「4技能を育てるアクティブラーニングの英語授業」

＜参加部員からの報告＞

自分には少しレベルが高い研修に感じたが、具体的な実践を紹介してもらい、刺激を受けた。自ら学び、自ら発信していこうとする生徒たちの姿を映像で見て、自分でもあんな指導ができたらいいなあと思った。

④ 「小小連携・小中連携」小学校外国語活動・国際科公開授業講座①

＜参加部員からの報告＞

他校の国際科の授業を見ることで、自分の授業を振り返り、反省する機会となった。子どもたちが楽しそうに活動している姿を見て、自分の国際科授業でも、子どもたちが生き生きと学ぶ姿をもっともっと追求していかなければならないと思った。

⑤ 小学校外国語活動・国際科の基礎

＜参加部員からの報告＞

今年度も、モジュール授業を想定したミニ活動をたくさん紹介してもらい楽しい研修だった。一つの教材、一つのアクティビティでも、少しの工夫でバリエーションに変化をつけることができ、自分でも実践してみたいと思った。

⑥ 「小小連携・小中連携」小学校外国語活動・国際科公開授業講座② ※2月に実施。

(2) 授業実践に向けた夏期研修



今年度も、夏季研修には南魚沼市のALTを迎え、授業に生かせるチャンツやゲームを行った。また、英語の教科化を見据え、15分間程度で行える活動を紹介してもらい、実際にやってみた。

後半は、南魚沼市の国際科授業ですでに始めているフォニックスを昨年度に続いて体験した。昨年の内容を一步進め、授業の流れを最確認できた。

4 成果と課題

英語の教科化に向けて、部員の意識は昨年以上に高まっていると感じる。

今年度の研修会も、各部員が自らの授業や実践を振り返る場となった。また、ALTに頼らずとも、自分一人で英語の授業を進めていく力を付けようという意欲を高める場にもなっていた。

各研修会で学んだことを、自分のものだけにしておかず、校内の推進役として確実に伝達し、各学校全体の授業力アップにつなげていくことが大切である。